

報 告 書  
REPORT

大阪府立産業技術総合研究所



Technology Research Institute of Osaka Prefecture



# 報告書

No. 02-00438

依頼者 住 所：奈良県葛城市忍海 31-1  
会社名（氏名）：セパレーターシステム工業株式会社殿

試料名（依頼者の申出による呼称）  
バイオイオナース動物用

1点

本所に提出された試料につき試験した結果を下記のとおり報告いたします。  
平成 20 年 5 月 16 日

大阪府立産業技術総合研究所長



試験項目：化学試験（繊維系消臭及びガス吸着機構評価試験）  
その他の化学分析：一般的なもの（定量）

試験環境：試験はすべて 20°C-65%RH の恒温恒湿室内にて行った。

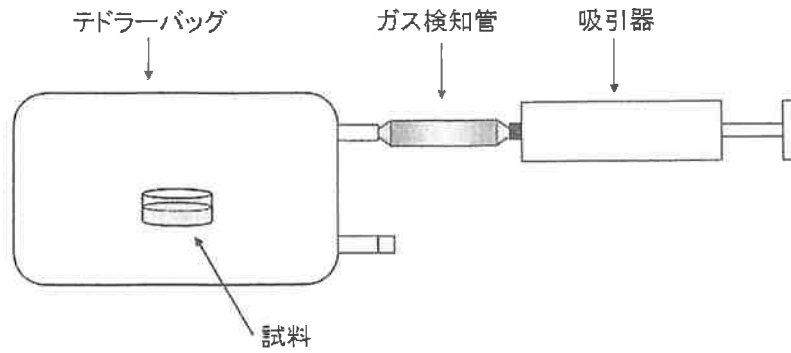
臭気ガス（初発濃度）：アンモニア(100ppm)、酢酸(50ppm)、トリメチルアミン(28ppm)、  
硫化水素(4ppm)

試験方法：直径 3cm のガラスシャーレ 4 個に試料液体をそれぞれ 3mL 注いだ。また、ブランク試験として直径 3cm のガラスシャーレ 4 個にイオン交換水をそれぞれ 3mL 注いだ。2 ロスリーブ付き 5L のテドラーバッグの片隅をカットし、テドラーバッグ 1 枚につきシャーレを 1 個入れた後、密閉した。真空ポンプで一度脱気した後、空気 3L を封入し、臭気ガスを所定の初発濃度になるように注入後密閉し、静置した。2 時間後、24 時間後のテドラーバッグ内のガス濃度を、ガステック社製ガス検知管を用いて測定した。

ガス検知管（測定範囲）：アンモニア：No. 3L (0.5~78ppm)、No. 3La (2.5~200ppm)  
酢酸：No. 81L (0.125~25ppm)、No. 81 (1~100ppm)  
トリメチルアミン：No. 180L (0.5~10ppm)、No. 180 (5~100ppm)  
硫化水素：No. 4LB (0.5~12ppm)

2 枚の内 1 枚目

試験模式図：



試験結果：試験は2回行い、その平均値を示す。

	バイオオーナーズ動物用		ブランク試験	
	2時間後	24時間後	2時間後	24時間後
アンモニア	測定範囲 (0.5ppm)以下	測定範囲 (0.5ppm)以下	30ppm	5ppm
酢酸	13ppm	測定範囲 (0.125ppm)以下	16ppm	測定範囲 (0.125ppm)以下
トリメチルアミン	15ppm	測定範囲 (0.5ppm)以下	21ppm	0.7ppm
硫化水素	4ppm	3.3ppm	4ppm	4ppm

以下余白